

会 議 報 告 書

主催者名	匹見総合支所住民福祉課
会議名	平成25年度 第2回 匹見地域協議会
開催日時	平成25年5月28日(火) 14時00分～17時00分
開催場所	益田市匹見総合支所 大会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none">・ 匹見地域協議会委員(8名) 別紙のとおり・ 市長、副市長、久保議員(意見交換会から)・ 匹見総合支所：長谷川支所長 住民福祉課：靱田課長、藤井補佐、三嶋 地域づくり推進課：村上課長 建設課：露口課長、井上課長補佐

【報告事項】

(1) 匹見地区の水道整備事業について<資料1 露口課長、井上補佐より説明>

平成28年度の益田市上水道との事業統合に向け整備を図る

■ 匹見簡易水道…岡本浄水場を休止し、野田浄水場に一元化する計画。平成27年度中の完成を目指す。

■ 澄川簡易水道…遠隔監視システム整備

■ 三葛簡易水道…遠隔監視システム整備

■ 広瀬簡易水道…遠隔監視システム整備

■ 小原飲料水供給移設、出合原・落合飲料水供給施設…三葛と同等のろ過機を設置。遠隔監視システム整備

<<質疑>>

● 野田浄水場は新たに設置するのか？完成後、今ある施設は撤去するのか？

▷ 新しい浄水場は現施設横の農地に設置する。現施設は撤去しない。

● 起債を財源の一部にしているが、それが今後の水道料に影響を与えないのか？

▷ 現時点では不透明。28年度に上水道と事業統合し、全体の中で考えていく。

(2) 地域力アップ応援事業計画について<資料2～4 靱田課長より説明>

前回指摘のあった標記について各センターから資料を取り寄せたので提供する。

<<質疑>>

● この事業費は地区振興センターに申請すればもらえるものなのか？

▷ センターによって運営手法が異なる。相談していただきたい。なお、営利目的事業については補助できない。

● 対象事業の選定方法がはっきり言って不明瞭。

● このこと自体知らなかった。周知が不十分では。

(3) その他

- 地域協議会と顧問制度については、美都との調整も必要。
 - ▷ 美都の状況も把握し、次回の地域協議会では何らかのものを示したい。
- わさびコーディネーターはなぜ一般公募しなかったのか？住民に説明ができ、納得できるような手法をとるべきだった。
- 地域自治組織設立支援事業に匹見下地区が選定されているが、地元のは寝耳に水。押しつけられた感が非常に強い。いまさら返すことにはならないかもしれないが、実際事業を進めるのは我々地元民。きちんとした段階を踏んでほしかった。
 - ▷ 丁寧に事業趣旨、目的等々を説明しながら理解を得て進めさせていただきたい。
- 嘱託職員の雇用についても、こういった経緯で決まるのか疑問に感じるところがある。

【意見交換会】 *ここから市長・副市長出席

基金について

- 地域コーディネーターの予算に関し、美都と匹見の取り扱いが違う。納得できる説明をお願いしたい。
 - ▷ 名称が同じだが、美都と匹見では若干意味合いが異なる。匹見は匹見地域限定でのコーディネーター活動を委託している。一方美都は美都地域にこだわらず、市内資源を有機的に関連させて発展させていく狙いを持ち、ゆくゆくは市内全域に広めていけるようなコーディネーター活動を想定している。そのため、取り扱いが違われ、匹見でももう一人コーディネーターを配置することもありうる。なお、美都は現在公募中。
- 匹見がある程度の成果をあげているから同じものを美都にもという考えは間違っていないと思う。匹見の活動が益田に波及していくことはいくらでもあり、そうすると同じように考えるべき。
 - ▷ 市としてはあくまで別物ととらえている。ご理解いただきたい。
- もし匹見に基金がなかったら美都や他地域と同じように一般予算の中で対応をしてもらえるのだろうか。今の対応を見ると不安な面が大きい。
- 匹見には基金があるから予算をつけないということがないよう、基金の考え方をきちんと整理しておいていただきたい。
- そもそも基金の使い方についてはどのようにお考えなのか？
 - ▷ 基金の用途については匹見の裁量に大きく任せている。市全体のお金か匹見のお金かは微妙な問題で、どちらとも言い難いところがあるが、ある意味聖域として捉えている。
- そう、ある意味聖域。だから基金を当てにするような予算は困る。

地域協議会・顧問制度について

- 諮問機関のような位置づけで設置され、8年経過した。今回の任期終了後、どうするのか結論を出さなくてはいけない。市長に今考えがあるならお聞きしたい。
 - ▷ まだ整理が十分ではない状況。早いうちに方向性を示したい。
- 地元の声をいかにして吸い上げるか、考えなくてはいけない。次回また聞きたいと思う。
- その方向性を出すにあたっては、地域の意見、協議会の意見、などには十分配慮していただきたい。

匹見地域の振興について

- わさびの今の生産現場を支えているのは後期高齢者の方々。若いIターンの方ももちろん頑張っているが、昔からわさびを育てている方たちの元気がなければいくら若者を支援しても

産地として成り立たない。そういう視点を持ちながら地域が長く生き続けられるような議論をしていただきたい。

- わさびだけじゃなく米にしても牛にしても、皆厳しい。匹見で生きていくための振興予算を市の予算としてもっと考えてもらいたい。
 - ▷ 視点を幅広く持って活用を図っていききたい。

山の活用について

- 匹見には豊富な山林資源があり、みな大切に育てている。そうした木に対する思いに応えられる施策を展開しては。匹見はわさびだけでなく山でも栄えた。ぜひ山に目を。
 - ▷ 木材の市場価格が下がっていることは事実。しかし、状況を良くすることは難しい。だからこそ、地元木材を地元で使う仕組みを作っていきたい。今年から新たに木造住宅の耐震化にも補助することにした。こうした取り組みだけでなくいろんな施策を打っていききたい。なお、わさびに力点をおく理由について、わさびは産地復活すれば産業として成立すると見込みがあると考えている。

新エネルギーについて

- 石見地方にバイオマス計画の具体的な構想は？
 - ▷ 現段階ではない温泉の熱源利用など、津和野や吉賀の事例を参考に検討していきたい。
- 石見部が協力すればかなりのチップができる。ぜひそうした議論をしていただきたい。
- 奥部にいけばいくほど集落崩壊の危機を感じている。すぐにでも山を利用しバイオマスエネルギーを導入しては。そうするともっと活性化し、人も集まるのでは。
 - ▷ バイオマスに関しては津和野が熱心に取り組んでいる。運搬コストや採算など、周辺状況を見極めながら同じことが益田でもできるのか検討していきたい。
 - ▷ バイオマス発電所について、江津は企業誘致の形だと聞いている。たとえば臨空ファクトリーパークにバイオマス発電所が誘致できれば地域にとって非常にいい影響となる。そういうことができないか産業経済部に検討させたい。
- 周辺でどこかがやってそこに益田で切った木を搬入できる無理に益田になくてもいい。とにかく山を活かす計画が必要だと思う。
- 7,8年前くらいに岡山の銘建工業が来たことがあったが結局実現できなかった。山を活かさなければいけないという気持ちで実際に進めてほしい。
- 澄川小学校の校庭にソーラーを張って売電したらいい。

地区振興センター・コーディネーターの職員配置について

- 地区振興センターの職員配置及びコーディネーター設置について、今の考えを聞きたい。
 - ▷ 前市長が示した方針は何らかの見直しをすべきと考えている。しかし、現段階で示せるものは正直なところない。市全体の行政組織見直しの中で考えていきたい。地域コーディネーターについては、支所に配置する考えはまだ生きているが、何らか見直す必要があると考えている。
- 今囑託職員ばかりになってきているが、果たしてそれでセンター自体継続し続けられるのか。突然打ち切りなど言われても地域は困るだけ。早めに方針を出し、地区での議論につなげていただきたい。

合併時の懸案事項について

- 簡単じゃないことは分かるが少しずつでも処理していただきたい。交付税もどれほど匹見に使われているか疑問に思うところもある。割合でいけば少ないかもしれないが、いくらかは匹見にも予算を配分されるべき。それが懸案事項の解消になる。いかがか？

- ▷ 25年度でいえば除雪車の配置などががんばったつもりではあるが…。また、市ではないが、県事業でグリーンライン90は大きな成果だと言える。
- ▷ 交付税の状況は確かに見ておく必要がある。合併に関して言えば県内で市町村合併をしたところは今どこも同じような課題を抱えている。合併は、確かに光と影があった。匹見にとって本当に影ばかりだったのかということは検証する必要がある。そのうえで10年間の成果と、地域において今後どういうまちづくりをしていくのか、という検討をしていきたい。非常にセンシティブな問題なので、いろいろな方の意見を聞きながら、聞ける体制を作りながら進めていきたい。その中で重要なのが「公平感」。匹見の人にとっての公平感と周辺の人にとっての公平感は違う。そうしたことを検証しながらこれから先のあり方を模索する1年半になるだろう。

● 国道は本気でやっていただき感謝している。

澄川小学校跡地利用について

- 地元としても陳情しているところ。今後統廃合が進み使わなくなる学校も増えると思われるが、活用方法はきちんと考えていただきたい。市から計画を提示していただければ乗るかどうか、その内容でいいかどうかはまた地元で話し合う。とにかく今のままではだめ。
- ▷ 手つかずのまま置いておいていいとは思っていない。地元の皆さんからも知恵をいただきながら早めに結論を出し進めたい。もちろん市の責任でやるべきという認識。一般予算の中で跡地利用をしっかりと考えていく。

合併浄化槽について

- 匹見の汚水処理は合併浄化槽のみ。清流高津川の水質を守るためにも補助率をあげて普及に努めては。
- ▷ 積極的に普及拡大を進めていきたい。

除雪車オペレーターについて

- 若い造林班などで冬季に仕事がなくなるものがある。そうした人に除雪車オペレーターになっていただくことはできないのか。雇用の場にもつながる。
- ▷ 良い知恵をいただいたので、持ち帰り検討したい。

地籍調査について

- 匹見の進捗状況は？ ▷ 面積的には少ないが、進めている。

入札制度について

- 難しいのは理解するが、地元業者が生き残れる策をお願いしたい。難しいことをやるのがまたいいもの。市長の人気も上がる。もし、今残る2業者がいなくなったら匹見は災害や除雪など、どうにもならなくなる。考えていただきたい。

国営開パイについて

- 国営開パイの現状は？徴収努力をしているのか？
- ▷ 未収金額は約2億1,000万円。徴収に向け鋭意努力しているが、払うに払えないなど、農業環境の悪化も影響している。
- ▷ キューサイがケールを栽培しており、その関連で滞納額がぐんと減ったことがある。そういうこと。負の財産を本当の財産に変える努力は市長のトップセールスを始め努力している。着実にすすめていきたい。

臨空ファクトリーパークについて

- ファクトリーパークは道路もよくなり、今や通勤圏内。若者が働く場確保のため市長のありとあらゆる人脈を駆使して企業を誘致すべき。今、全く何もないのか？
 - ▷ ないわけではないが、一日でも早くそれをお伝えできるよう努力したい。
- 誘致には目を見張るような優遇措置が必要。5年くらい税金取らんでもええくらいのを。
 - ▷ なんとか早いうちにお伝えできるようがんばりたい。

飛行機乗車券補助について

- 何年も何年も補助するのはいかなものか？
 - ▷ 利便性向上のためにはまずは座席数を確保することが重要。そのためにはご理解いただきたい。

夜間飛行・米軍低空飛行について

- 航路になって19時～20時頃毎晩飛んでいる。低空飛行も多い。